



字形

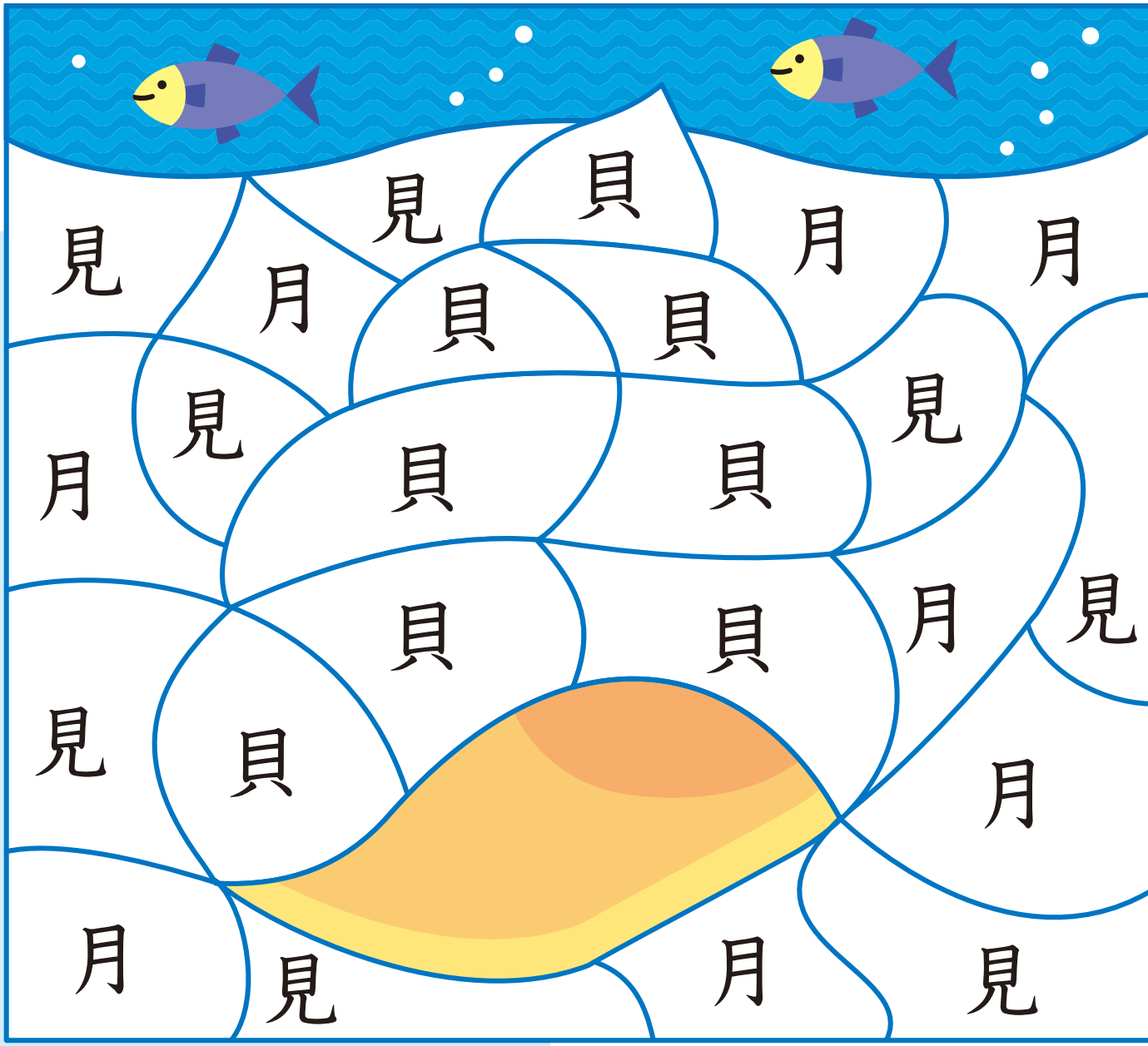
なにがでてくるかな

5~6さい
おうちのかたへ
発展として、「貝」と違う漢字が何種類あったか聞いてみるとよいでしょう。

貝

のかんじがあるところに、いろをぬりましょう。

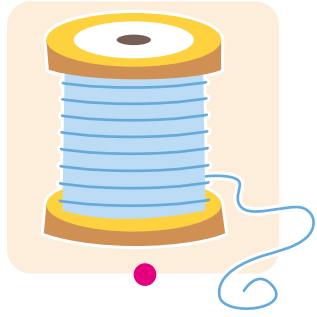
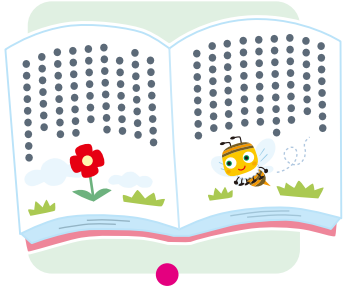
がつ
にち
なまえ



なんの えが でて きたでしよう。
えに あう かんじシールを はりましょう。



かい



糸 いと

玉 たま

本 ほん

車 くるま

えと ことばが あうように、せんで つなぎましょう。
ものを あらわす かんじです。

がつ

にち

なまえ

5~6さい



字形

どの

かんじかな

線をつないだら、それぞれの漢字を声に出して読んでみましょう。
おうちのかたへ





読み

あう

ものを

えらぼう

おうちのかたへ

絵と漢字を線でつないだあと、漢字を声に出して読み、合う読み方を線でつなぐとよいでしょう。

がつ

にち

なまえ

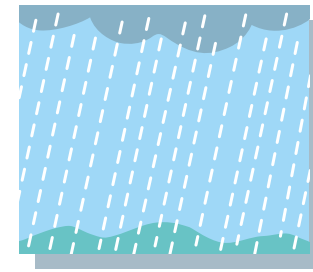
えに あう かんじと よみかたを、

せんで つなぎましょう。



雨

くさ



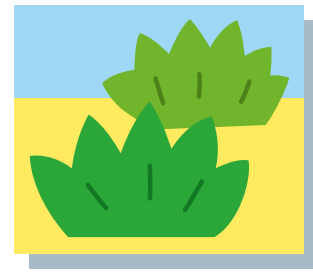
草

むら



耳

あめ



村

みみ



書き

かんじを かこう

なまえ

がつ

にち



に かんじを かきましよう。

ことばと えが あうように、せんで つなぎましよう。

おうちのかたへ

ここからは、マス目に漢字を書く練習です。書き順の通りに書きましよう。書いたら、声に出して読みましよう。



いち えん だま

一 円 玉

ご えん だま

五 円 玉

じゅう えん だま

十 円 玉

ご じゅう えん だま

五 十 円 玉





1ねんせいの かんじ



おうちのかたへ

「おん」は音読み、「くん」は訓読み、赤字は送りがなです。※は中学校以上で習う読み方です。「—」は読みがないことを表しています。

<p>水</p> <p>つかいかた 水えい・水てつぼう</p> <p>おん スイ くん みず</p>	<p>火</p> <p>つかいかた 火じ・花火</p> <p>おん カ くん ひ・※ほ</p> <p>つかいかた 火よう日・火山</p>	<p>月</p> <p>つかいかた お月さま</p> <p>おん ゲツ・ガツ くん つき</p> <p>つかいかた 月よう日・五月</p>	<p>日</p> <p>つかいかた しゆく日・お日さま・五日</p> <p>おん ニチ・ジツ くん ひ・か</p> <p>つかいかた 日よう日</p>	<p>千</p> <p>つかいかた 千とせあめ</p> <p>おん セン くん ち</p> <p>つかいかた 千人・千よがみ</p>	<p>百</p> <p>つかいかた 百円・百てん</p> <p>おん ヒヤク くん —</p>	<p>十</p> <p>つかいかた 十月十日</p> <p>おん ジュウ・ジツ・(ジュツ) くん とお・と</p> <p>つかいかた 十円・十かい</p>	<p>九</p> <p>つかいかた 九月九日・九つ</p> <p>おん キュウ・ク くん ここの・このの</p> <p>つかいかた 九かい・九じ</p>

かくじゅんじよ

なぞりましよう

かきましよう